

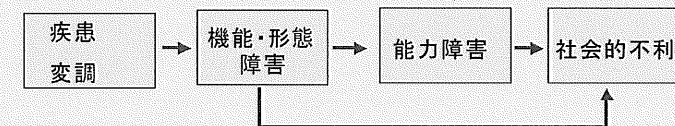
自立活動のめざすもの

中部地区小・中学校講師研修会
特別支援学級部会
H26. 6. 17

1

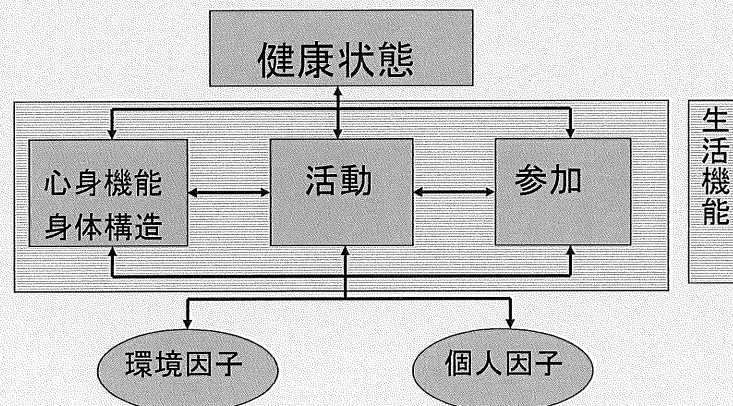
障がい観の見直し

ICIDH (国際障害分類) モデル (1980年版)



2

ICF (国際生活機能分類) モデル
(2001年～)



3

自立活動の目標

<特別支援教育のあり方の基本的考え方>

特別支援教育とは、従来の特殊教育の対象の障害だけでなく、LD、ADHD、高機能自閉症を含めて障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである。
(今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)のポイントより 2003.3)

<自立活動の目標>

個々の児童または生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度および習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う。

4

〈自立活動の指導〉

学校の教育活動全体を通じて行うもの
特に教育課程の中に位置づけて指導する時間
＝「自立活動の時間」

特設された「自立活動の時間」はもちろん、各教科、道徳、外国語活動、総合的な活動の時間および特別活動の指導を通じても適切に行うこと

(特別支援学校学習指導要領解説総則編等 参照)

〈自立活動の指導の特色〉

- 個々の幼児児童生徒が、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動。
- 個々の幼児児童生徒の障害の状態や発達の段階等に即して指導を行うことが基本。
- 個別指導の形態で行われることが多いが、指導の目標を達成する上で効果的である場合には、幼児児童生徒の集団を構成して指導することも考えられる。

自立活動の指導計画は**個別に作成されることが基本**
最初から集団で指導することを前提とするものではない点に十分留意すること。

(特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 p 7)

自立活動の内容

- ・ 6区分26項目
- ・ すべてを取り扱うというものでなく、児童生徒の実態に応じて、必要な項目を選択して行う。
- ・ 選択した項目を相互に関連付けて設定する。
- ・ 「人間関係の形成」の区分を新設

各区分の内容の観点

区分	観 点
1 健康の保持	生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の状態の維持・改善を図る。
2 心理的な安定	自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。
3 人間関係の形成	自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う。
4 環境の把握	感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手がかりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする。
5 身体の動き	日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な動きができるようにする。
6 コミュニケーション	場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。

(各項目については「特別支援学級担任のための手引」P18を参照)

具体的な指導内容の設定

- ア 主体的に取り組む指導内容
- イ 改善・克服の意欲を喚起する指導内容
- ウ 遅れている側面を補う指導内容
- エ 自ら環境を整える指導内容

(特別支援学級担任のための手引 第2号 p19, 20)

9

ポイントとなる視点

- ・長所を活用する
苦手な克服よりも得意なことを活かして
- ・環境を調整する
見通しを持って主体的に活動するために
- ・自己理解・自己認知を促す
自分の得意、苦手を知る

10

支援のポイント

見通しを持たせる(短期、長期)



明確な指示

どこで、いつ、なにを、どのくらい、
どのようなやり方で、終わったらなにをする

具体的に物を提示・視覚的な支援

11

物理的構造化



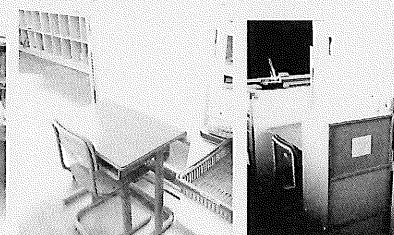
小集団のスペース



個別のスペース



作業のスペース



12

ワークシステム

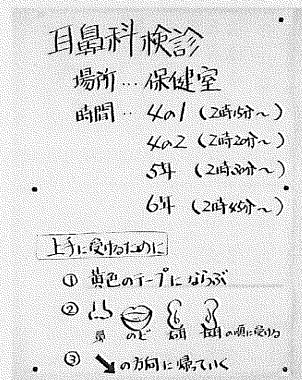
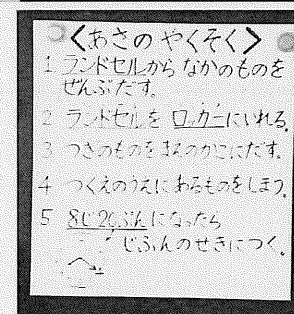
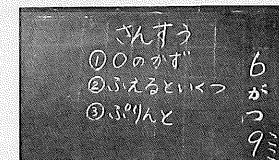
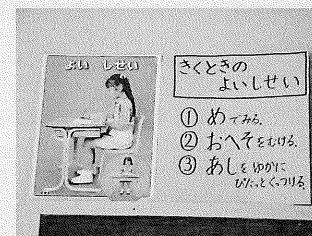


1. なんの課題か
2. どのくらいの量か
3. どんな方法で
4. 終わったらどうするか

左から右へ
上から下へ

13

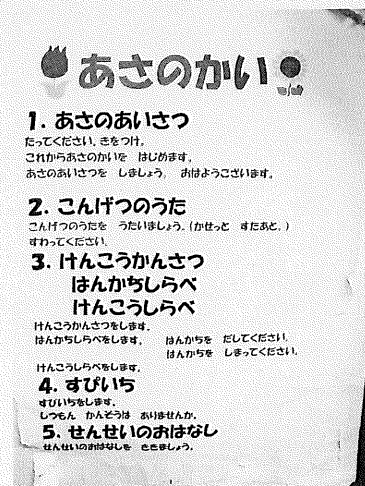
視覚支援の例



14

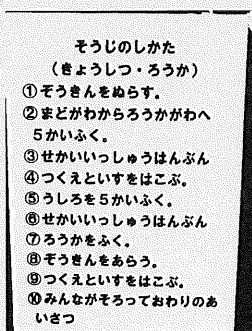
手順があるとよくわかる

ルーチン・視覚的構造化



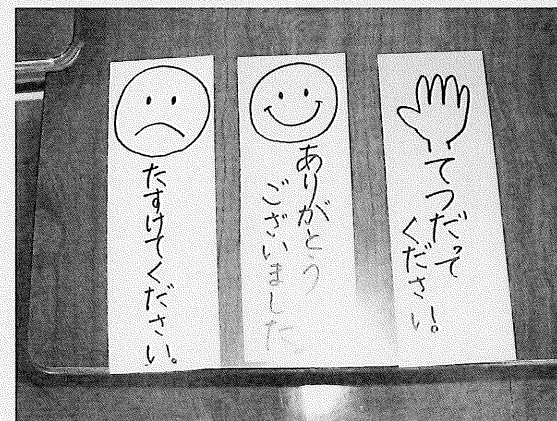
視覚化された手順書

↓
見てわかる方法を用いて
視覚的に課題を完成する
流れを伝えるもの



15

コミュニケーションカード



助けを求める事ができる力は
自立への大きな一歩

16

チェックしてみましょう

- 見通しをもたせるしかけがありますか？
- 自分から発信できるしかけがありますか？
- 自分を知る(ふりかえり)しかけがありますか？